

理事長	事務局次長	施設長	係長	係長	責任者

平成29年度（第2回） 介護・医療連携推進会議

第2シルバーコースト甲子園 定期巡回随時対応サービス

開催日時	平成29年10月10日（火） 13:30～14:40	司会	魚井 珠美	記録	榎本 修介
出席者	地域医療関係者： 寒者 弘美様 中島 淳美様 上原 恭代様 有知見者： 亀崎 千恵美様 山口 佐代子様 栗井 美恵子様 中村 正子様 大塚 弥寿子様	事業所： 魚井 珠美 榎本 修介			
<p>1.参加者紹介（資料1参照）</p> <p>2.定期巡回随時対応サービスの現状について（資料2参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月末で利用者数11名。入れ替わりはあるが、増減は無し。 ・利用者年齢平均は70.7歳。40代の方が居たため、低年齢化している。 ・利用者平均介護度は2.61。全国平均はこれよりまだ少し低い。 ・問い合わせ件数は8月は0。9月に入って少しずつまた増えてきている。スタッフを増員し対応出来る利用者枠が増えたので、順番待ちとなっている利用者から対応していく予定。 <p>3.主な随時対応・訪問サービス内容報告（資料3参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月6月は訪問対応が一気に急増していたが、これは施設から在宅に戻られてサービスを開始した利用者が、施設のナースコール感覚で1日に複数回通報されていたからである。状態が安定してきた7月と8月は通報回数は半減している。 ・5月に膝痛を訴える通報があり、訪問看護との連携で対応した。また8月には転倒したと通報があり、すぐに訪問し状態観察を行った。それぞれスムーズに対応できていた。 <p>4.定期巡回・随時対応サービス自己評価・外部評価について（資料4参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回公表した自己評価について、外部評価をいただき公表。 ※その中で、『利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供』という項目があり、自己評価では「契約時に本人・家族等へ趣旨の説明を行っている」としていたが、外部評価では「行われているが、本人・家族の受け入れが不十分になることがある」という意見があり、事業開始から2年が経過した今、改めてしっかりと説明を行い事業に対して理解を得て納得されたうえで、サービスを利用して頂かないといけない。 <p>5.連絡事項・その他質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心ケアサービス（実費ケアサービス）について 当事業所利用者やロイヤルウエスト甲子園入居者を対象に、自費サービスを契約の上提供している。料金は介護保険サービスに準じており、今までの利用実績としては病院受診や、認知症利用者の徘徊時の対応などがあった。 					
次頁へ					

前頁より

- 定期巡回の新たな課題と反省点

- 当事業所が発足して2年が経ち、これまで普及活動や説明会を数回行ってきたが、他者には定期巡回のイメージが24時間いつでも何回でも入ってもらえるお得なサービスと捉えられていると感じた。

利用者にとって、本当に必要なサービスが何かを支援者がしっかりアセスメントし、各関係機関と情報交換を密にして共通認識を持って援助にあたることが重要である。

また、定期巡回は短時間滞在の複数回訪問となる為、時間内で利用者とのコミュニケーションの取り方についても再度見直していく必要がある。

ヘルパーが援助出来ること、出来ないことなどもしっかり説明して利用者本人・家族に理解して頂くことも援助の中において理解を求めていかなければならない。

6.次回開催

- 平成30年2月13日(火) 13:30～ 当施設にて

以上